

Japan Digest No.8

2009年 1月吉日

INPEA 日本国会員各位殿

2009年、明けましておめでとうございます。本年もよろしくお願ひ申し上げます。
大変遅くなりましたが、*Japan Digest* の第8号を送付させていただきました。本第8号では、去年11月に米国メリーランド州ナショナル・ハーバー（National Harbor）で行われた、第61回米国老年学会大会での Elder Abuse Interest Group（高齢者虐待防止に関心のある人々の集まり）の活動内容および高齢者虐待防止に関する日本からの研究発表の一端と今後のイベントの簡単なご紹介をさせていただきます。

1. 【昨年11月に米国メリーランド州ナショナル・ハーバー（National Harbor）で開催された第61回GSA（米国老年学会）におけるINPEAの活動】

毎年1度、11月に行われる米国老年学会（GSA：Gerontological Society of America）の年次研究大会が、昨年は、メリーランド州ナショナル・ハーバー（National Harbor：最寄の空港は、ワシントンD.C. ロナルド・レーガン・ナショナル空港）のゲイロード・ナショナル・リゾート&コンベンション・センター（Gaylord National Resort and Convention Center）で、2008年11月21日（金）～11月25日（火）までの5日間、開催されました（GSAのURL：<http://www.geron.org/>）。

そのGSAで、毎年行われている高齢者虐待防止に関心のある人々の集まりである（このグループの委員長は15年以上多々良先生が務めておられます）、“Interest Group on the Elder Abuse, Neglect, and Exploitation”には、世界からINPEAの幹事やメンバー、高齢者虐待に興味・関心のある人たちが集まり、自分の国や所属組織の、1年間の高齢者虐待防止に関する



<GSA の Interest Group on the Elder Abuse, Neglect, and Exploitation の会場の様子>

活動についての報告をします。私は、本務校入試と重なって、参加できる年とできない年とがありますが、昨年は幸いにも、参加できました。11月23日(日)朝11時に成田空港を出発し、約12時間後の同日午前9時半に、ワシントン・ダレス国際空港に到着。そして、GSAの会場までタクシー(約35分)で行きました。このInterest Groupの会合は、日曜日の午後6時半から始まるため、私も参加することができました。その会合場所の雰囲気を、前ページの写真でご紹介いたしましたが、参加者数は、例年は25名前後ですが、首都で開催されたためでしょうか?昨年は大変多く、最大時で37名を数えました。

会合は、例年通り、多々良委員長の司会で進められました。今回は、生憎INPEA会長リア・ダイチマンやINPEA監査のスーザン・サマーズ氏は欠席でしたが、カナダの副会長エリザベス・ポドニクス氏や、米国高齢者虐待防止委員会(NCPEA)会長のパメラ・ティースター女史や同委員会元会長のロバート・ブロンカート氏を始めとする多くの参加者に恵まれ、皆さん、熱心に意見を交換されていました。日本からは、INPEA理事多々良紀夫氏、日本大学の山田祐子先生、淑徳大学大学院総合福祉研究科学生(現聖カタリナ大学勤務)の佐々木隆夫氏および勝亦麻子氏、大阪八尾市立病院内科医長の大江洋介氏、社会福祉法人大川市福社会木の香園の上釜光輝氏等が参加されていました。



右側の紳士が、普段は滅多におめにかかれぬロバート・ブロンカート氏で、同氏は1980年代の初めから米国連邦下院高齢化問題委員会ヒューマン・サービス小委員会の事務局長として、高齢者虐待防止の法制化運動の指揮をとった人物である。多々良先生の長年の友人で、3年程前に、東京で講演を行ったことがある。左の女性が、現米国高齢者防止委員会(NCPEA)会長のパメラ・ティースター女史である。



各種報告の中でも、一際目を引いたのが、Archstone Foundation(アーチストーン財団)についての報告であろう。財団は、2006年から5年間で800万ドル(約8億円相当)もの費用を、カリフォルニア州の高齢者虐待防止への特別プログラムへ投資を開始したが、そのプログラムのスケールの大きさには皆感嘆し、拍手が起こっていた。この取り組みでは、最初の2年間に、第一段階として、18の研究プロジェクトに合計3.3億円が助成され、その第一段階の活動や成果が冊子(←左参照:p.20)となっており、それが配布されました。

<アーチストーン財団の報告書の冊子の表紙>



<Interest Group 会場にて：多くの参加者から活発に意見が出され、皆さん聞き入っていました。参加者の方々の議論が白熱し、予定終了時刻の午後8時を15分越えて会は終了しました。>



2. 【GSA（米国老年学会）：高齢者虐待防止に関する日本からのシンポジウム発表】
淑徳大学多々良紀夫先生（INPEA 理事で日本高齢者虐待防止学会の研究活動推進委員長）が、”11月24日（月）の午後3時15分から4時45分まで、”Measuring the Effectiveness of Japan’s Elder Abuse Prevention Law of 2006: Getting Ready for a Third Year Official Review”という題目で、シンポジウムを組まれました。社会福祉士会の上釜氏は、「虐待対応のソーシャルワーク・モデルの構築」について、多々良先生は「日本の高齢者虐待防止法の施行における社会福祉士の役割」について、また、山田先生は「施設内虐待の全国調査とその意義」について発表されました。そして、フォルダム大学大学院のパトリシア・ブラウネル教授の有意義なコメントが披露されました。同教授は、ニューヨーク市高齢者福祉局の上級管理職として高齢者虐待防止法の施行を担当したことがあり、また、日本の法律も精読して、パワーポイントによる彼女のプレゼンテーションには、説得力がありました。



<前列右端が Discussant パトリシア・ブラウネル教授>

以上で、第 61 回 GSA (米国老年学会) の報告を終わります。★来年の GSA は、ジョージア州アトランタ市で 2009 年 11 月 18 日 (水) から 22 日 (日) までの 5 日間開催されます!

3. 【2009 年にはや第 4 回目を迎える World Elder Abuse Awareness Day (WEAAD)】

(世界で高齢者虐待防止を考える日) のイベントは **6 月 14 日 (日)** になりました!!

今年も 6 月 15 日の「世界で高齢者虐待防止を考える日」がやって参ります。今年の INPEA 日本国委員会のイベントは、日本高齢者虐待防止学会の理事会と協同して、前日の 6 月 14 日に開催する予定です! イベントの時間や場所、内容等は追ってご連絡いたします。皆様、手帳に 6 月 14 日 (日) を「INPEA の第 4 回 WEAAD」の日として確保いただけますと幸甚です。次回は、参加者の皆様が、普段の活動や問題点・悩みを共有できるような形にするよう心がけます。ご参加をお待ちしています!

4. 【2009 年 7 月 5 日 (日) ~ 9 日 (木) は第 19 回 IAGG World Congress of Gerontology & Geriatrics(Paris 2009)=世界社会老年学&老年医学大会パリ大会】

標記パリ大会のシンポジウム申し込みは昨年 6 月で締め切られましたが、研究発表要旨の締め切りは、今月 1 月 31 日 (土) です。INPEA も、このパリ大会において特別プログラムの開催を企画しています。詳細が決まりましたら、お知らせしますので、楽しみにしておいて下さい! 皆様、まずは、発表要旨を投稿して、7 月にパリでお会いできる可能性をお互いに確保いたしましょう!?! IAGG の URL は: www.gerontologyparis2009.com です。

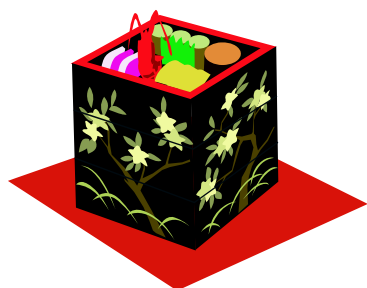
5. 【2009 年 7 月 25 日(土)に、第 6 回日本高齢者虐待防止学会名古屋大会が開催されます!】

今年で第 6 回目を迎える日本高齢者虐待防止学会 (高崎絹子理事長) が、愛知県名古屋市のウィルあいち (愛知県女性総合センター) で行われます。大会長は、国立長寿医療センター包括診療部長遠藤英俊先生 (日本高齢者虐待防止学会理事) です。発表演題締め切りは、2009 年 5 月 22 日 (金) です。皆様のご参加をお願いします! 日本高齢者虐待防止学会 (JAPEA) の URL は、<http://japea.umin.jp/> です!

INPEA (国際高齢者虐待防止ネットワーク: URL は <http://www.inpea.net/>) の入会は無料です。皆様の同僚・ご友人をご紹介ください! 今年は会員 100 名を達成したいと思います!

(2009 年 1 月現在の INPEA 日本国委員会の会員数は 71 名です!)

それでは、末筆になりましたが、本年も、世界規模で高齢者虐待問題を考える、国連助言機関 INPEA (高齢者虐待国際ネットワーク) の活動の輪を徐々に拡大していきたいと思ひます。引き続き、皆様のご支援とご協力をよろしくお願い申し上げます。



INPEA 日本国委員会代表 塚田 典子
日本大学大学院グローバル・ビジネス研究科
〒102-8275 東京都千代田区九段南 4 丁目 8-24
Tel: 03-5275-9430
Fax: 03-5275-8386
E-mail: tsukada.noriko@nihon-u.ac.jp
INPEA Japan URL : <http://www.inpea.jp>
INPEA URL : <http://www.inpea.net>